



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 赤羽弘之 会報副委員長 大石ひとみ 第2863回例会 2019.4.18 No.1523



インスピレーションになる

2018-19年度RIテーマ

BE THE INSPIRATION

ソング 我等の生業

会長談話

皆さん、先週は観桜会お疲れ様でした。いよいよ桜満開となりましたが、この一週間、停電、季節はずれの雪等大変でした。昨年我々が高遠町下山田に植えたタカトウコヒガンザクラ10本のうち1本が弱ってきて心配です。私の会長任期はあと2ヶ月となりました。なんとか持ちこたえます。



委嘱状伝達

米山奨学生カウンセラー

中山一郎会員

幹事報告

別紙をご覧ください。

出席報告 会員数55名 内出席免除17名
 長欠2名 出席者30名 事前メーキャップ0名
 出席率63.82% 前々回78.70%変更無し。

ニコニコボックス

立石 誠・赤羽弘之 中山さん米山奨学生カウンセラー一宜しくお願ひします。

中山一郎 米山奨学生カウンセラーに委嘱されました。スリランカ出身で信大院生(男性)です。よろしくお願ひします。

小林孝行 本社事務所が出来上がりました。宜しくお願ひ致します。

本田敏和 観桜会例会場ご利用ありがとうございました。

小林句子 観桜会の二次会にご利用いただきありがとうございました。また、桜の枝を沢山分けていただきこの一週間、店内が華やかでした。

観桜会ビンゴ当選 都築 透、中山一郎、唐木 拓、馬場智義、小林孝行、原田和愛

4月ゴルフコンペ入賞者 荒木康雄、小坂樗男、小河節郎

地区研修・協議会報告

次期会長部会 唐木一平会長エレクト欠席のため後日発表予定

次期幹事部会 唐木 章次期幹事

○幹事の「役割と責務」として

- ・クラブの次期役員や理事会メンバーと密に連絡を取り、年間計画を立てる。
- ・例会、理事会、協議会の議事録を記録する。
- ・ロータリー年度末に年次報告を作成する。
- ・必要に応じて、会長 会計、各委員会を援助する。
- ・My Rotary を活用する
- ・クラブの管理運営・効率的な運営を支える

○2600地区の方針(4つの優先事項)

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的なかわりを促す
- ・適応力を高める

次期会員増強部会 都築 透次期会員増強委員長

- ・第2600地区目標 2000名堅持 各グループ純増10名 各クラブ純増1名
- ・特に力を入れたのは、女性会員、40歳以下の若手会員を増やす。
- ・そのためには、青少年活動を活発にして、若者を勧誘していく。
- ・各クラブで当年度会員増強・維持活動計画書の作成。

次期公共イメージ向上部会

大石ひとみ次期クラブ会報委員長

今年度の計画・重点事業

- ・「ロータリーの友」等冊子を公共性のある施設に配布。
- ・ロータリーのポスターを会員に配布し掲示を依頼。
- ・ロータリーデーを実施し、月信に取材協力する。



- ・委員相互の親睦を深める機会を設ける。

次期職業奉仕部会

竹腰哲夫次期職業・社会奉仕委員長

○委員会の目的

- ・ロータリー活動の根幹をなす職業奉仕の理念を会員とともに考え理解を深めていく。
- ・互いの職業から学びを受ける場を提供し、ロータリーの魅力を高める。



○今年度の計画・重点事業

- ・職業奉仕セミナーの実施 11月30日 土曜日
- ・松本大学との教育連携協定に基づく講座の開催
- ・地区内のクラブによる出前講座の支援推進

次期社会奉仕部会

小河節郎クラブ管理運営委員長

1. 武藤委員長の話

- ・社会奉仕は RC 活動の中で最も主要な活動である。又、奉仕は片手間とするものではなく、継続性が大切である。しかし目的が達成されたなら終了し、次のステップに進むことが重要。
- ・高度な奉仕活動を行うため、大勢のロータリアンと知り合うことが大切である。



2. 滝沢副委員長から

- ・「交換留学生スキーの集い」の企画・結果報告。

3. 次年度の目標は

- ・2600 地区古川ガバナーの方針である「ロータリーの魅力を広げよう」。
- ・Spread Charm of Rotary をロータリアンが実践する。ロータリーのあらゆる機会を通じて人脈を広げよう。そのためには①My Rotary への登録②ショーケースへの登録 が重要である。

4. 次年度の計画・重点事業

- ・My Rotary 中にあるロータリーショーケースの登録案内。
- ・ロータリーに関する話を通じて社会奉仕活動の理解を広める。

5. 各クラブの社会奉仕活動事例が発表された。

時間の都合上、駒ヶ根、塩尻北、中野の 3RC。

次期青少年奉仕部会

山崎秀亮次期青少年奉仕委員長

○委員会の目的目標

- ・2600 地区における青少年奉仕活動が、地区方針及び提唱クラブの方針に沿って、円滑且つ有効に行われるよう



サポートをするとともに、各小委員会相互の交流を通じて、中高生から若年成人までが一貫してロータリーの精神を学び将来の担い手となるような環境をつくりだす。

○今年度の計画・重点事業

- ・各小委員会の活動が円滑且つ有意義に行われるようサポートする。
- ・各小委員会相互の交流が積極的に行われるような環境整備をする。
- ・1、2年後の「青少年奉仕年次大会（仮称）」の実現を目指し、各小委員会の活動計画のすり合わせをおこなう。

次期ロータリー財団部会

原義美次期国際奉仕・財団委員長（唐木 章次期幹事代読）

○寄付目標

- ・年次基金への寄付 150 ドル/1 人
- ・ポリオプラスへの寄付 30 ドル/1 人
- ・ロータリー平和センターへの寄付 500 円/1 人
- ・恒久基金への寄付 1000 ドル/1 人（任意）
- ・PHF、MPHF、ベネファクター、メジャードナー PHS、遺贈友の会会員の増員

○ロータリー財団に対する理解を深める

- ・ロータリー財団の補助金について
- ・ポリオプラスについて
- ・ロータリー財団の資金の仕組みについて
- ・資金管理の参加資格について
- ・ロータリー平和フェローについて
- ・寄付の認証の種類について

○地区補助金管理セミナーへの出席要請

○地区補助金の申請について

○ロータリーカードへの加入を推奨する。

○地区ロータリー財団奨学生を推薦する。

○地区補助金の資金管理及び報告をする。

次期米山記念奨学部会

宮下金俊次期国際奉仕・財団委員長（唐木 章次期幹事代読）

○米山奨学会の特徴として、奨学金は例会時に手渡しをする。また、カウンセラー制度を設けて、ロータリアンとの交流をする。

○2009 年に米山奨学生だった中国人女性の卓話があり、大学生生活時に米山奨学金が無ければ中国に帰るしかなかった実情を報告した。

○寄付目標として、普通寄付 3,000 円/1 人 特別寄付を加算して 2 万円/1 人とする。